







頸部郭清術を受けられる患者様へ

頸部郭清術パス【20017-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医 _____ 担当看護師 _____ No1

	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	入院日	2日目 (手術当日)	3日目 (術後1日)	4日目 (術後2日)	5日目 (術後3日)	6日目 (術後4日)	7日目 (術後5日)	8日目 (術後6日目)	9日目 (術後7日目)	10日目 (術後8日目)	11日目 (術後9日目)	
目標 毎日看護師と評価します	□治療の内容がわかる(パスの内容が理解できる)											
	□入院生活、手術についてわかる □体温が正常である(38℃以下)	□創部に問題がない(創部の著明な腫脹がみられない)					□創の抜糸ができる、 □創部の腫脹がない		□創部の腫脹がない		□処置を要する腫脹がない	
		□必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減できる							□ドレーンが抜去された状態である	□退院後のわからないことを聞くことができる		
		□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いができる										
		□安静が守られている				□ドレーンからの排泄量が増量しない						
		□発熱がない(38℃以下)										
内服 注射			抗生剤の点滴(1日2回) 術日は補液(5時間程度)を実施します。翌日以降は食事摂取状況に合わせて行うこともあります									
検査			朝に採血します									
治療 処置	・主治医から手術について説明があります ・麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います。時間未定のため、できるだけお部屋にいて下さい		・検温(1日3回) 		検温(1日1回) 							
			・喉吸入(1日2回6時~8時と19時~21時)									
					毎朝6時にドレーン排泄の測定を行います(排泄の量が減るとドレーンが抜けます)							
食事 飲水	・絶飲食の時間をお伝えします		・手術後は医師の許可が出たら、飲食ができるようになります ※食事はお粥が出ます		・術後1日目より米飯に戻りますが、お粥希望の方はお知らせ下さい ・場合によっては医師の指示により、脂肪を制限するお食事になることがあります。その際、間食でも乳製品や脂肪分の多いものは摂取を控えてください。							
清潔	・浴室使用の時間については看護師からお伝えします		・手術日から術後1日目までは、タオルで体を拭くことになります。管が抜けたり、傷口に負担がかからないように看護師がお手伝いします		・ドレーンが入っている間やガーゼで圧迫固定している場合は看護師介助で洗髪できます ・ドレーン挿入中は下半身シャワーに入ることができます		・ガーゼで圧迫固定をしていなければ、ドレーンが抜けたら当日から全身シャワー浴ができます ・ガーゼで圧迫固定をしている場合は、洗髪は看護師が介助します。胸から下であればシャワー浴ができます※ガーゼが濡れないように首にタオルを巻くと良いです					
安静 活動	・院内自由		・手術後、呼吸が楽にできるよう、ベッドの頭側は少しあげます ・トイレ・洗面以外はお部屋で安静に過ごしましょう		・術後1日目より院内自由 		退院基準：□傷が閉じており、感染がない状態である。 □傷の手入れ方法がわかる 					
説明 指導	・術後の注意点について看護師から説明します ・手術日にはご家族の方の待機をお願いしています※手術中は7階のデイルームからお部屋でお待ち下さい		・手術日にはバスタオルを1枚ベッドに用意してください									
			《術後》 ・痛い、吐き気がする、息が苦しいなどの症状があれば、ナースコールでお知らせ下さい ・ドレーンが入っている間は、動く時、チューブが突っ張ったり、折れ曲がったりしないように注意して行動しましょう チューブの先には血液を貯める容器が付き巾着に入れ首からぶら下げ、パジャマにピンで止めます				《退院後の生活について》 ・「傷のお手入れについて」のパンフレットを参照してください ・必ず退院後も外来受診しましょう					

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります